

## 衝撃部門委員会委員の研究装置紹介

研究室名 (研究機関名称から正確に)	諏訪東京理科大学 システム工学部 機械システムデザイン工学科 板橋研究室	
教員 (職名,氏名)	講師 板橋 正章	
連絡先 (所在地,TEL,FAX,E-mail)	所在地	〒391-0292 長野県茅野市豊平 5000-1
	TEL	0266-73-9845
	FAX	0266-73-9917 (Fax を送ったときは, TEL か E-mail で連絡ください.)
	E-mail	itabashi@rs.suwa.tus.ac.jp
研究室紹介	(1) 研究内容	固体材料の高速引張り特性評価 ・金属材料の動的応力 ひずみ特性評価 ・固体ポリマーの動的応力 ひずみ特性評価 ・複合材料の動的応力 ひずみ特性評価 予損傷固体材料の高速引張り力学特性評価 ・予ひずみ材の動的応力 ひずみ特性評価 ・予疲労材の動的応力 ひずみ特性評価 ・予損傷固体材料の高速引張り力学特性劣化の原因探索 チャックしにくい試験片の高速引張り試験方法の開発
	(2) 最近の主な刊行物 (過去5年程度)	学術論文 ・ M. Itabashi, S. Nakajima and H.Fukuda, “Microscopic Observation of the Side Surface of Dynamically-Tensile-Fractured 6061-T6 and 2219-T87 Aluminum Alloys with Pre-Fatigue,” JSME Int. J., Ser. A, Vol.48, No.4 (2005) 222-227. ・ 板橋正章, 福田博, 低サイクル予疲労を与えられた建築構造用圧延鋼材 SN490B の高速引張り力学挙動, 材料, 第53巻, 第3号 (2004) 260-265. ・ M. Itabashi, “High Velocity Tensile Test for Thin Plate Specimen with One Bar Method,” JSME Int. J., Ser. A, Vol.46, No.3 (2003) 316-321.
	(3) 主な研究装置 (代表的な装置の型番・性能や使用可能な試験片形状寸法等)	研究室で開発した衝撃試験装置 ・ 水平型ゴム動力式高速引張り試験装置 (ワンバー法, 棒径φ14mmまで, 容量15kN) 研究室所有の試験機 ・ 油圧サーボ式疲労試験機(島津サーボパルサー EHF-FB1-1111型, 容量10kN)